



木々の葉の色の変化とともに、街も少しずつ秋色に染まっていくように感じます。皆さん、如何お過ごしでしょうか？

コロナの感染者数は減ったとはいえ、まだまだ心配が完全に消えたわけではありません。



夏の暑い時期のマスク着用は辛かったですが、涼しくなった今は苦痛が少しは和らぎますので、うがい、手洗いと共にこのまましばらく我慢しましょう。

行楽の秋にあわせ「Go To トラベル キャンペーン」再開？は、嬉しいような時期尚早のような・・・複雑な思いがします。遠くに出掛けなくても、身近で秋を楽しむ方法はあるはず。それぞれの秋を満喫してください！

家を建てる段取り (13)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【土地を決めたら・・・】

建て直しではなく、現在住んでいる場所を離れ、新たなところで家を新築するにあたっては、希望条件に合った土地購入を検討しながら、住宅会社に建物の間取りプランや見積もりを依頼していることが多いと思います。

交通の便、周囲の環境、そして一番重要な価格、等など検討することはたくさんありますが、購入予定候補の土地が決まったら、建築工事を依頼しようと考えている会社の担当者に、先ずその土地を見てもらうことをお勧めします。



地域によって (特に都内の場合)、さまざまな規制や条件が異なり、希望する家が建てられないといった場合もありますので気をつけましょう。

実際に現地を見ることによって、近隣の建物や日照、道路の騒音など、図面だけでは判らない情報を得ることができるため、より具体的に図面に反映することが可能になります。



もし、複数の会社に建築を相談中なら、全ての会社の担当者に土地を見てもらいましょう。建物に対する同じ希望条件を伝えれば、提案の比較検討がしやすくなります。

とは言っても、やたら複数の会社に声をかけすぎるのも考えものです。

各社おのおの見方が違うので、当然見積りにも違いが発生し、自分自身が判断に悩むことにもなりかねませんので、注意が必要です。

次号に続く

「金木犀の香り」

10月の寒露の頃、近くを通るとふいに香ってくる甘い香りに「あ、金木犀が咲いている」と気付くことがあります。常緑樹にオレンジ色の小花をたくさん咲かせる金木犀の花言葉にはいろいろありますが、香りの素晴らしさに比べて花が控えめなところから「謙虚」「謙遜」。香りが甘くて官能的なところから「陶醉」という花言葉もびつたりです。一度嗅ぐと忘れられないような芳香は「真実の愛」や「初恋」にも通じるものかもしれません。

金木犀は、梔子(くちなし)、沈丁花(じんちょうげ)と共に三香木と呼ばれています。

その甘い香りはリラックス効果が高く、不安感やイライラを鎮めてくれるそうです。

また、金木犀の香りは、合成されてトイレ用消臭剤にも使われたので、そのイメージが強いのが少し残念ですが、本物の花の香りはやさしくて心が落ち着きます。



知らない方から教えられたこと



今回は、知人から聞いた話をご紹介します。

先日、習い事から帰る次男を迎えに、いつも通り車で最寄りの駅に向いました。

車に乗り込んだ子どもの様子が、いつもと少し違うことに気付き、「疲れたの？それとも何か嫌なことでもあったの？」と聞くと、「財布を落とした」と力のない返事。よほどショックだったらしく、ひどく落ち込んでいました。

駅の改札口を出た時の様子を聞くと、財布を落としてしまったことを、正直に駅員さんに話したら、「今度から落とさないように気をつけてね」と元気づけ、改札を通してくれたそうです。

そのことに感謝をしながら、もしかしたらと思い、落としたかもしれないと思われる駅に電話をかけてみることにしました。

傍で、その話を聞いていた長男は「盗まれたんじゃないの？」とまで言い出す始末。

日頃から、マナーの悪い大人の会話や行動などを見聞きしているせいか、この様な言葉が自然と出てきてしまったのかもしれない。

私自身も、きっと届いてはいないだろうと半ば諦めつつ、落とし物担当部署に電話をしてみました。



「落とし物の特徴は？」と聞かれたので説明すると、「それなら届いていますよ」と予想外の言葉。

「え、本当ですか？」と、驚きながらも問い返してしまいました。

その時の状況を尋ねると、若い女性が、ホームで拾いました、といて届けてくれたそう。

係員が名前や連絡先を聞いたのですが、何も告げずに帰られたそうです。

財布の中身は、そんなに高額ではなかったものの、やはり落とし物を見つけて、わざわざ係員に届けてくれたことは本当に有り難く、感謝しています。

日頃から、「危ない」「駄目」など否定的なことばかりを子どもたちに教えていたことを反省し、まだまだ素晴らしい人はたくさんいらっしゃるのだと嬉しくなりました。



やはり子ども達には、悪いことからではなく、まずは良いことを教えるべきだと思います。

人を疑うことより、信頼し、助けてもらった時には感謝する気持ちを育てることが大事だと、息子の落とし物騒ぎを通じ、あらためて考える機会を与えていただきました。



財布を拾ってくださった方、本当に有難うございました。

「編集後記」

柿の実が色づく秋を身近に感じます。

街中で、木に実った柿を見かけると、「桃栗3年柿8年」の言葉通り、物事をなすにはそれ相応の時間がかかるという教訓を思い出します。

先行きが見通せず不安が募る状況の中で、8年先を予想するのは難しく感じますが、今思いついたことを始めておいたら、いつの間にか8年経っていた・・・ということがあるかもしれませんね。

先ずは何から始めましょうか？

日が落ちるのも早くなり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきますので、くれぐれもお体大切にお過ごしください！



今月号もお読みいただき有難うございました。「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺・田鶴子